

## ■ 「NOG マウスを使用したがん転移モデル」のご紹介。

### ① 文献の紹介：<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/35093872/>

「High Incidence of Lymph-node Metastasis in a Pancreatic-cancer Patient-derived Orthotopic Xenograft (PDOX) NOG-Mouse Model」

本文献は「AntiCancer, Inc., San Diego, CA, U.S.A.」、「Department of Surgery, University of California, San Diego, CA, U.S.A.」、「Department of Surgery, Tohoku University Graduate School of Medicine, Sendai, Japan.」の共著になっています。

### ② 文献概要：

- ・ RFP を発現するように遺伝子改変したヌードマウスに患者由来すい臓がん組織を移植します。次に増殖した PDX がん組織切片をヌードマウスと NOG マウスに同所移植しています。
- ・ これにより、RFP を発現するヌードマウス由来の間質も同時に移植されます。
- ・ ヌードマウスでは、同所移植した場所で腫瘍の増殖が見られたが、転移は見られませんでした。
- ・ その一方 NOG マウスでは、がん組織とともに転移した RFPTg マウス由来の間質がリンパ節で RFP を発現し、リンパ節への転移が確認されました。
- ・ 本モデルは、転移の研究や個別化医療の研究に有効と考えられます。

### ③ 追加情報：

- ・ 現在、実験動物中央研究所でも肺がん PDX を使用して転移の研究を進めていますが、NOG マウスを使用した場合、皮下からでも遠隔転移が観察されています。
- ・ NOG マウスは、がん転移の実験に有用と考えられます。本分野のご実験では、是非一度お試しください。よろしくお願いいたします。
- ・ 実験動物中央研究所の PDX に関する記載のあるページ  
[https://www.ciea.or.jp/laboratory\\_animal/humanized\\_mouse/human\\_cancer\\_model.html](https://www.ciea.or.jp/laboratory_animal/humanized_mouse/human_cancer_model.html)
- ・ NOG マウスの特徴について（Hela 細胞を移植した場合の高移植能を示したグラフなど）  
[https://www.invivoscience.com/nog\\_mouse.html](https://www.invivoscience.com/nog_mouse.html)  
<https://www.invivoscience.com/pdf/contents/nog-04.pdf>
- ・ RFP 発現ヌードマウスは AntiCancer Japan Inc.から購入可能です。  
[http://www.anticancerjapan.com/research/nude\\_mouse/index.html](http://www.anticancerjapan.com/research/nude_mouse/index.html)

### ④ イメージング受託サービス：

- ・ （公財）実験動物中央研究所では、超高磁場磁気共鳴画像装置（7T MRI）、マイクロ X 線 CT を用いた In vivo イメージングの受託サービスを実施しています。
- ・ NOG マウスと合わせて是非ご利用くださいますようお願い申し上げます。
- ・ In vivo イメージングサービスのご案内：<https://www.invivoscience.com/mri.html>

□ 本モデルに関する問い合わせ先：営業部 田畑一樹  
Tel:044-201-8518 email : [sales@invivoscience.com](mailto:sales@invivoscience.com)